

## 食品安全モニター課題報告

「食品安全委員会からの情報発信について」（平成 22 年 1 月実施）の結果（要約）

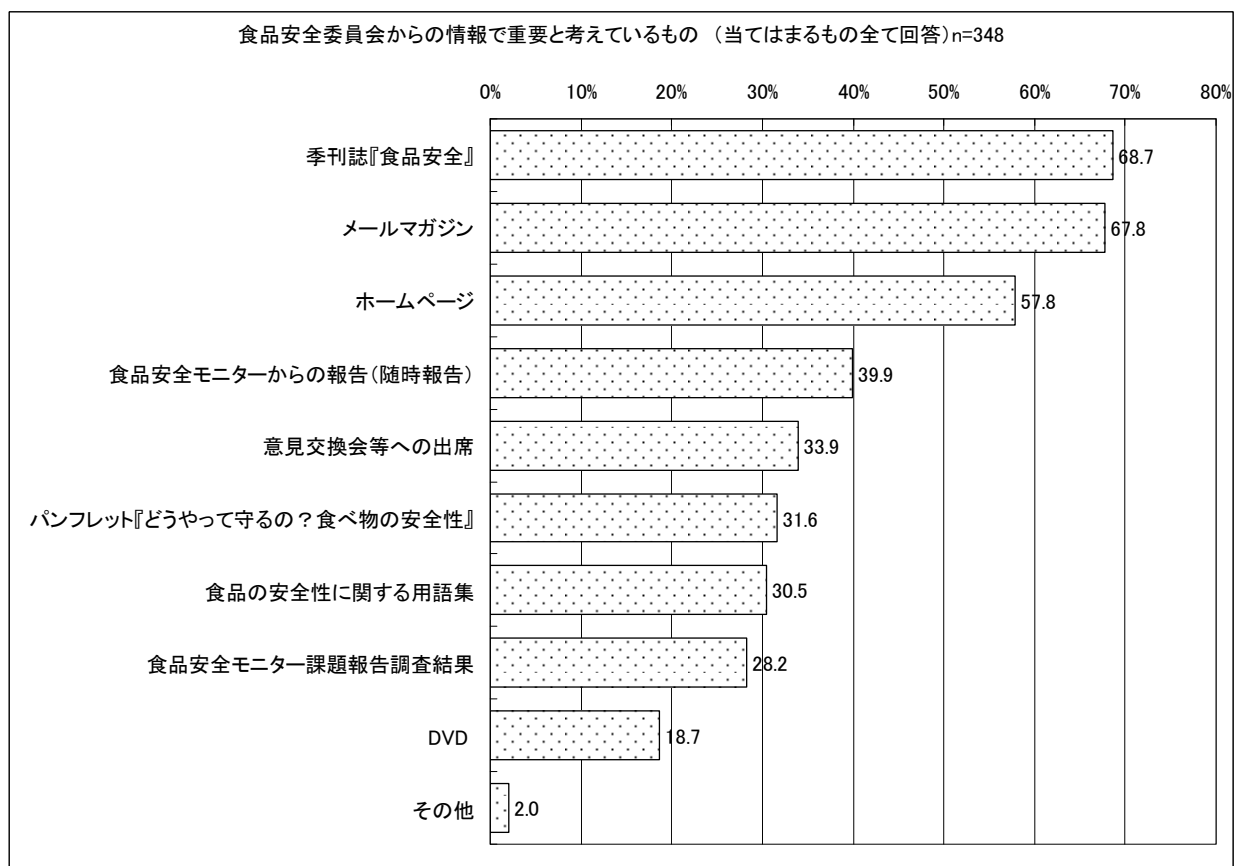
食品安全モニター470名を対象に食品安全委員会が行った調査(平成21年7月)の結果において、食品安全委員会に期待することとして、「食品の安全性に関する科学的な根拠に基づいた情報の提供」、「緊急事態への対応（重要なお知らせのホームページ掲載、臨時メールマガジンの発行等）」等の回答が過半数であったため、平成22年1月15日から同月29日までを調査実施期間として、食品安全モニター470名を対象に、食品安全委員会からの情報発信について調査を実施した。（有効回答数 348名(74.0%)）

### 【調査結果（要約）】

#### 1) 食品安全委員会からの情報発信について

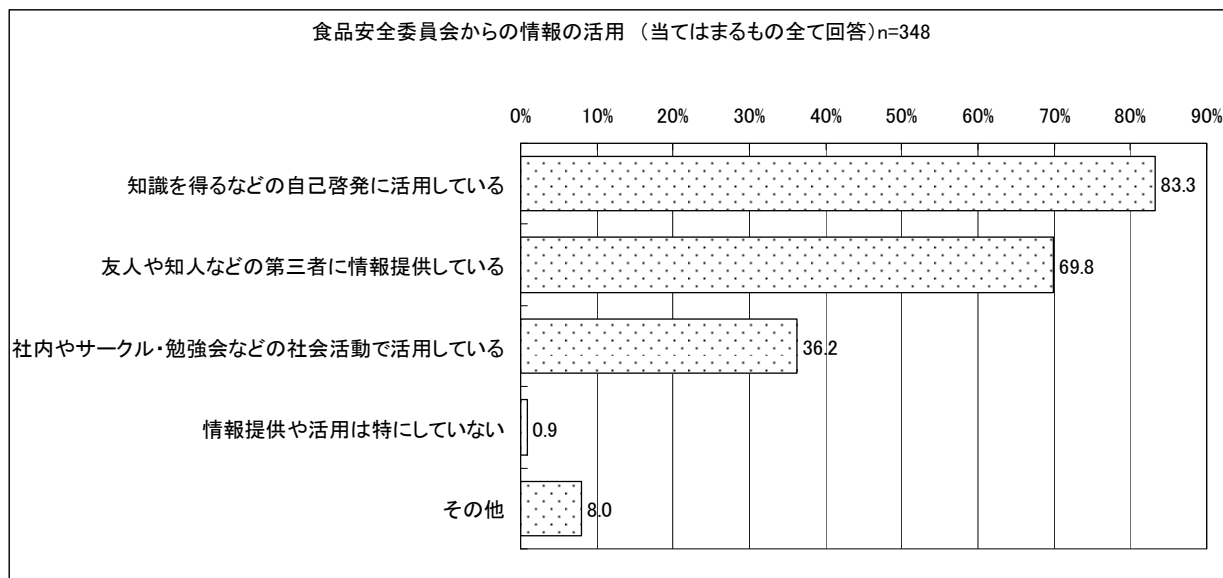
##### ① 食品安全委員会からの情報で重要と考えているもの(問1)

- ◆ 食品安全委員会から発信される情報で重要と考えているものについて、回答割合が高い順は「季刊誌『食品安全』」（68.7%）、「メールマガジン」（67.8%）、「ホームページ」（57.8%）。



## ②食品安全委員会からの情報の活用（問2）

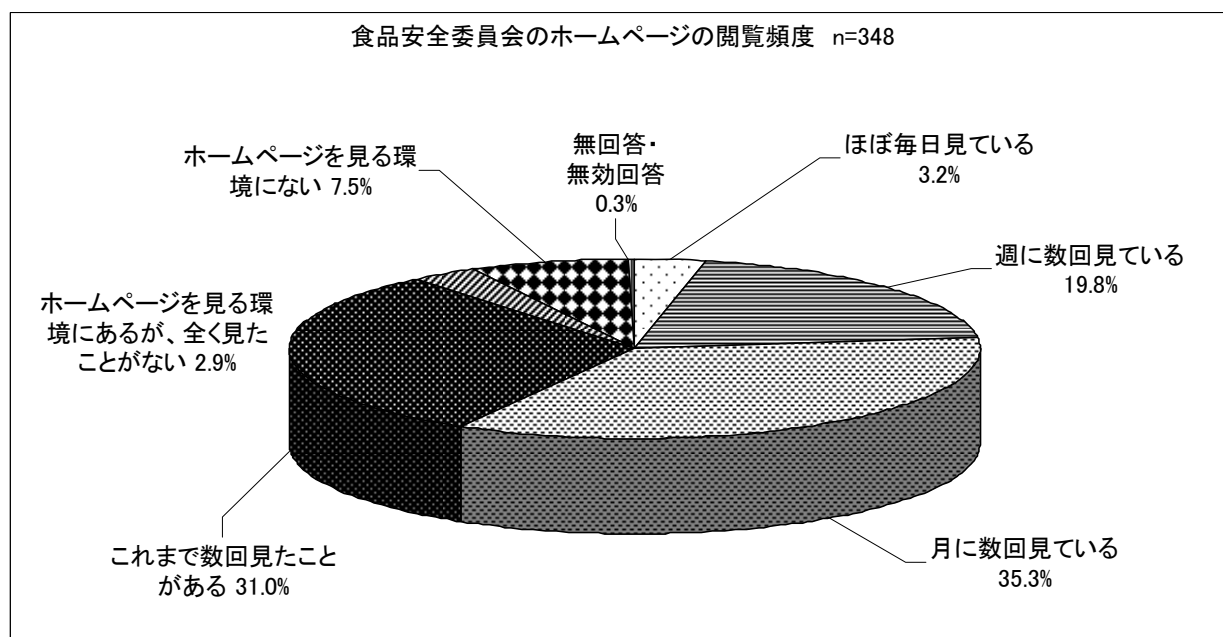
- ◆ 食品安全委員会から発信されている情報の活用方法の回答割合が高い順は、「知識を得るなどの自己啓発に活用している」（83.3%）、「友人や知人などの第三者に情報提供している」（69.8%）、「社内やサークル・勉強会などの社会活動で活用している」（36.2%）、「情報提供や活用は特にしていない」（0.9%）、「その他」（8.0%）。



## 2) 食品安全委員会のホームページ等による情報発信について

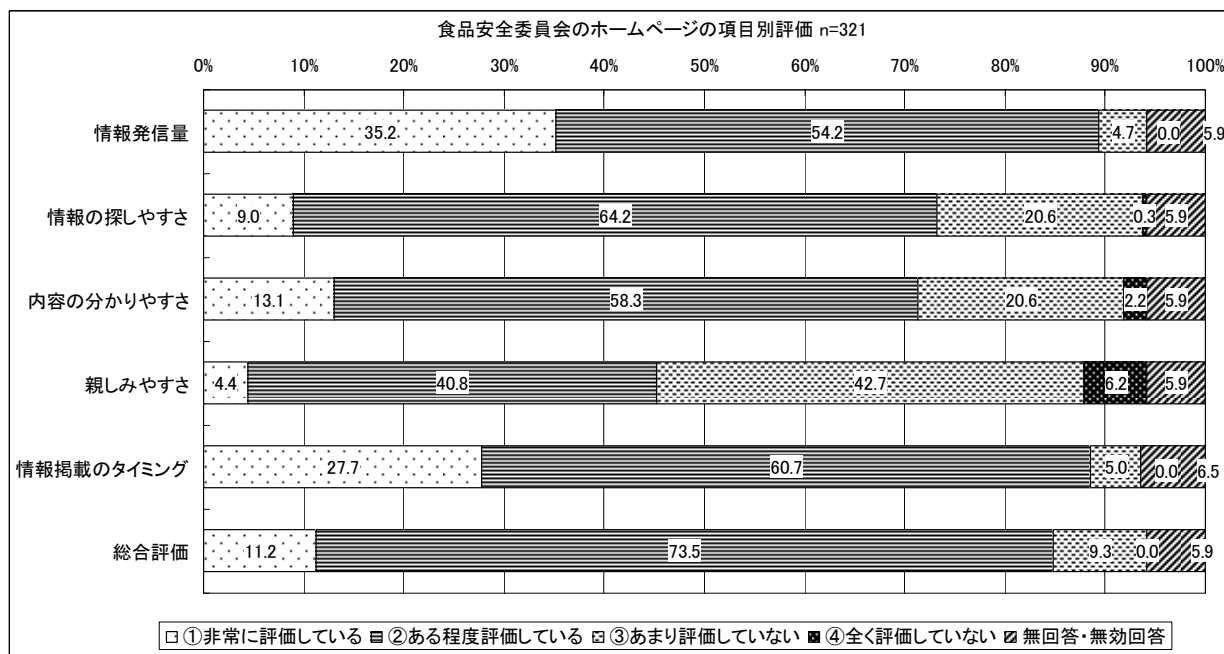
### ①食品安全委員会のホームページの閲覧頻度（問3）

- ◆ ホームページの閲覧頻度の回答割合が高い順は、「月に数回見ている」（35.5%）、「これまで数回見たことがある」（31.0%）、「週に数回見ている」（19.8%）。



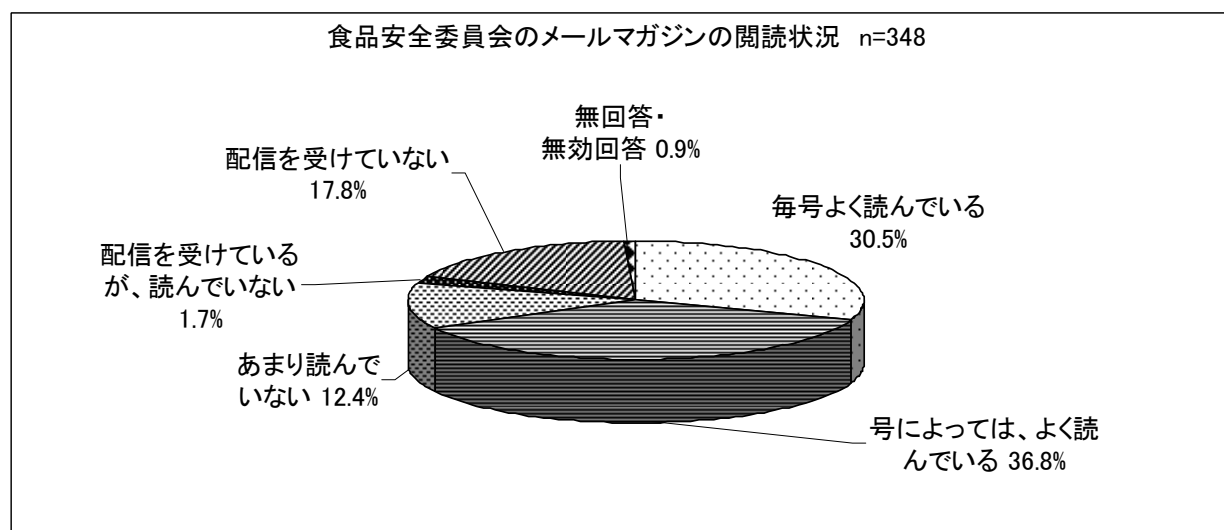
## ② 食品安全委員会のホームページの項目別評価（問4）

- ◆ 食品安全委員会のホームページについて「非常に評価している」「ある程度評価している」とする回答割合が高い項目の順は、「情報発信量」(89.4%)、「情報掲載のタイミング」(88.4%)、「情報の探しやすさ」(73.2%)、「内容のわかりやすさ」(71.4%)、「親しみやすさ」(45.2%)。
- ◆ 食品安全委員会のホームページに対する総合評価は、「非常に評価している」「ある程度評価している」とする回答割合は84.7%。



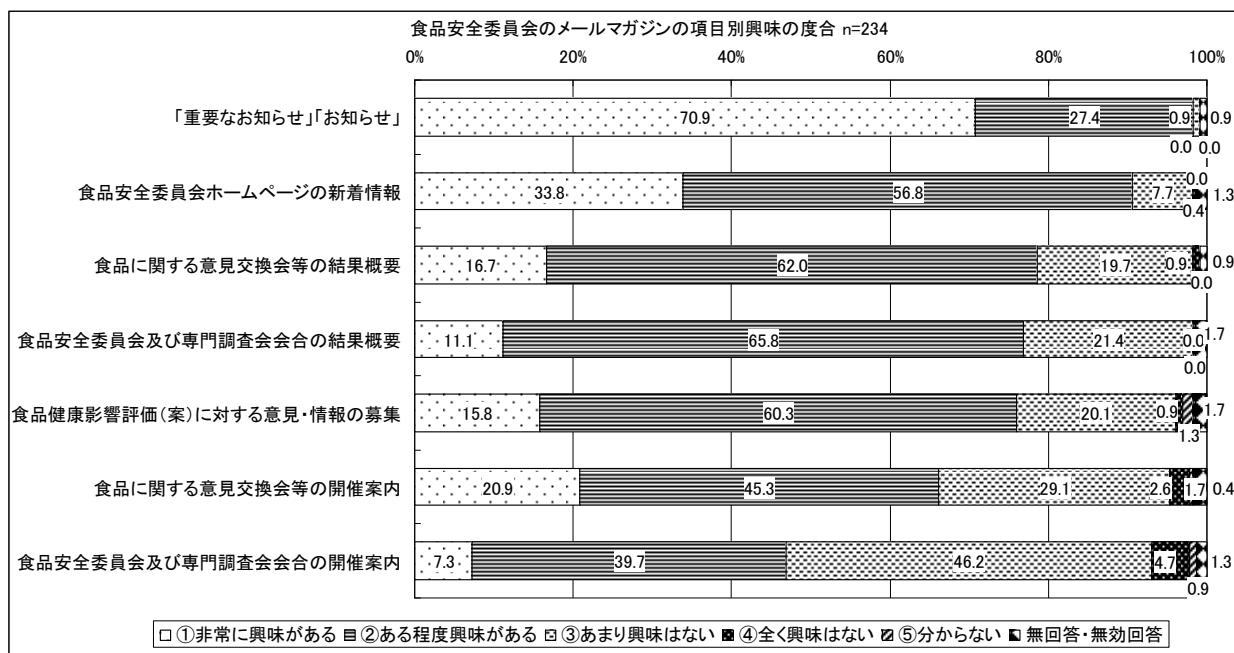
## ③ 食品安全委員会のメールマガジンの閲読状況（問5）

- ◆ 食品安全委員会のメールマガジンの閲読状況は、「配信を受けていない」(17.8%)という人がいるが、「号によっては、よく読んでいます」(36.8%)とする回答割合が最も多く、次いで「毎号よく読んでいます」(30.5%)、「あまり読んでいない」(12.4%)、「配信を受けているが、読んでいない」(1.7%)の順。



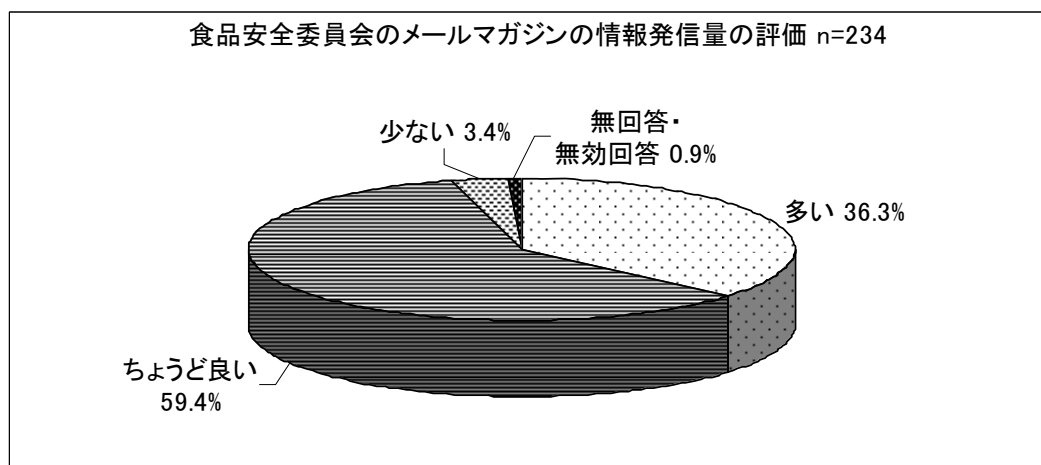
#### ④食品安全委員会のメールマガジンの項目別興味の度合(問6)

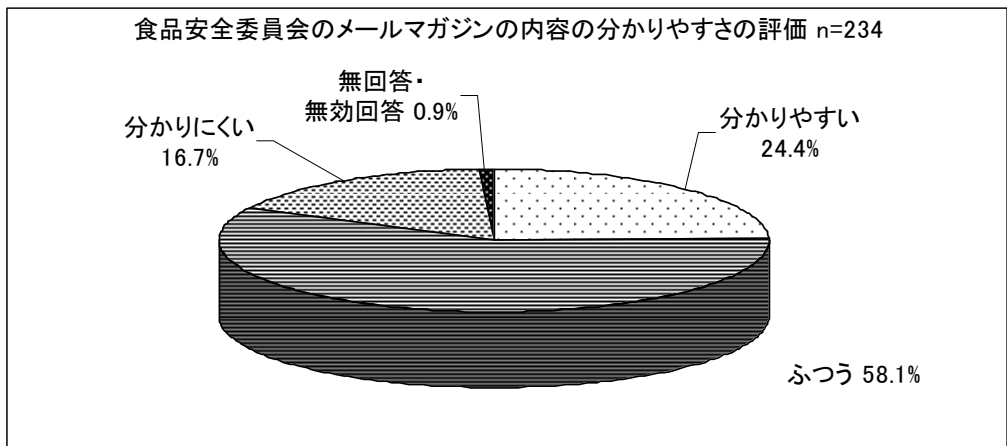
- ◆ 食品安全委員会のメールマガジンで「非常に興味がある」「ある程度興味がある」とする回答割合が高い項目の順は、「重要なお知らせ」「お知らせ」(98.3%)、「食品安全委員会ホームページの最新情報」(90.6%)、「食品に関する意見交換会等の結果概要」(78.7%)、「食品安全委員会及び専門調査会会合の結果概要」(76.9%)、「食品健康影響評価(案)に対する意見・情報の募集」(76.1%)、「食品に関する意見交換会等の開催案内」(66.2%)、「食品安全委員会及び専門調査会会合の開催案内」(47.0%)。



#### ⑤食品安全委員会のメールマガジンの項目別評価(問7)

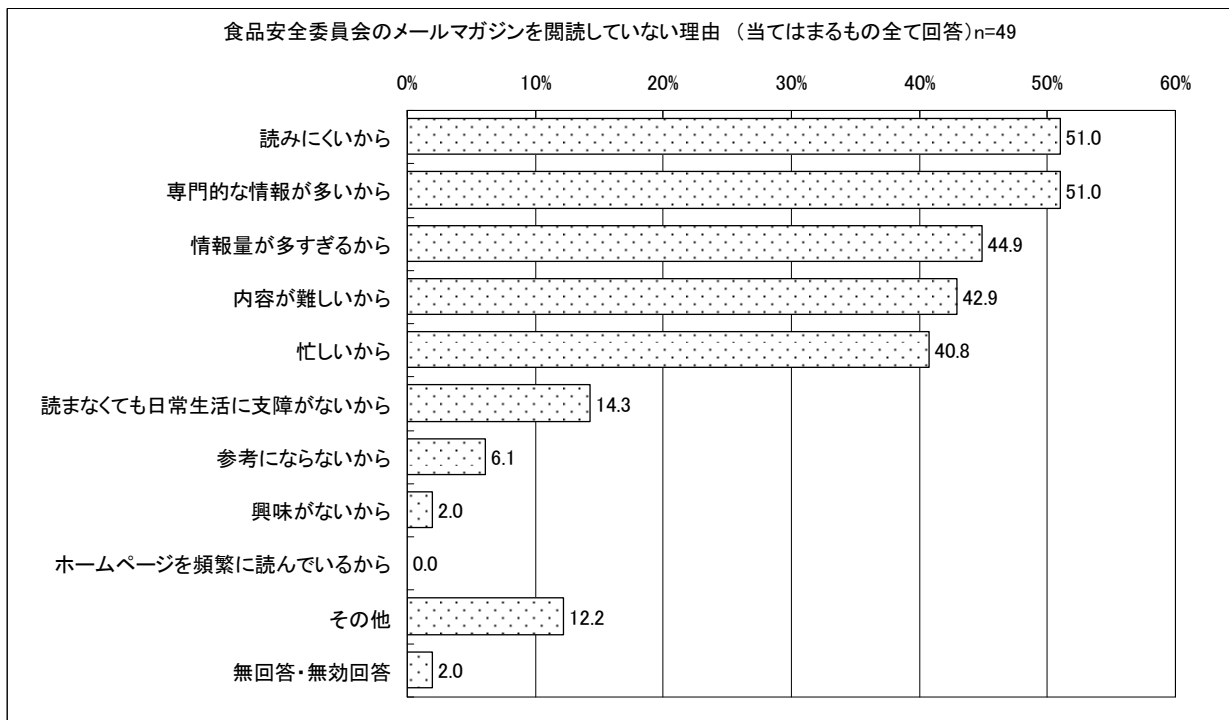
- ◆ メールマガジンの情報発信量については、「ちょうど良い」とする回答割合が 59.4%、「多い」とする回答割合が 36.3%、「少ない」とする回答割合は 3.4%。
- ◆ メールマガジンの内容については、「ふつう」とする回答割合が 58.1%、「分かりやすい」とする回答割合が 24.4%、「分かりにくい」とする回答割合が 16.7%。





⑥食品安全委員会のメールマガジンを閲読していない理由(問8)

◆ 食品安全委員会のメールマガジンの配信登録をしている人の閲読していない主な理由の回答割合が高い順は、「読みにくいから」(51.0%)、「専門的な情報が多いから」(51.0%)、「情報量が多すぎるから」(44.9%)、「内容が難しいから」(42.9%)、「忙しいから」(40.8%)。



3) 平成21年度食品安全モニター会議後の情報提供について

①食品安全モニター名簿及び食品安全モニター会議講演資料(CD-R)の食品安全モニター活動への有用度合(問9)

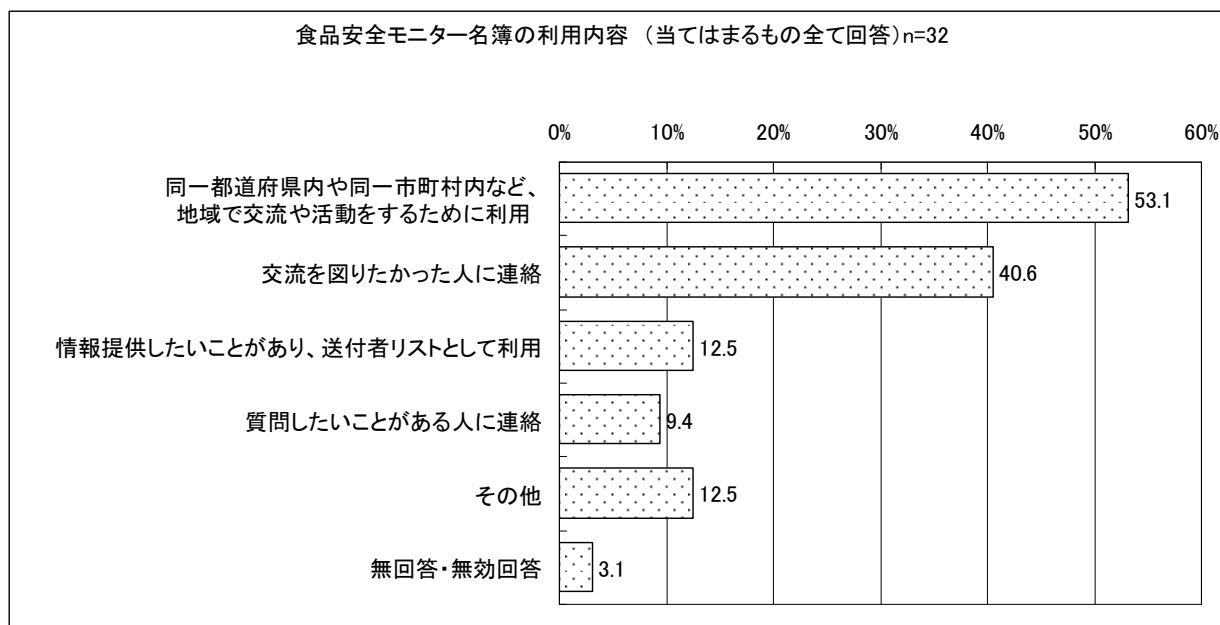
- ◆ 食品安全モニター名簿は回答者の50%程度が配付を希望し受け取っており、「役立った」とする回答割合は回答者全体の9.2%。
- ◆ 食品安全モニター会議講演資料は、『資料①「食品の安全性と信頼性確保」の事務局からの説明資料』、『資料②食品安全委員会委員からの説明資料』ともに回答者の25%程度が配付を希望し受け取っており、回答者全体のうち「役立った」とする回答割合は、資料①で16.7%、資料②で17.2%。

食品安全モニター名簿及び食品安全モニター会議講演資料(CD-R)の  
食品安全モニター活動への有用度合 (単位:%)

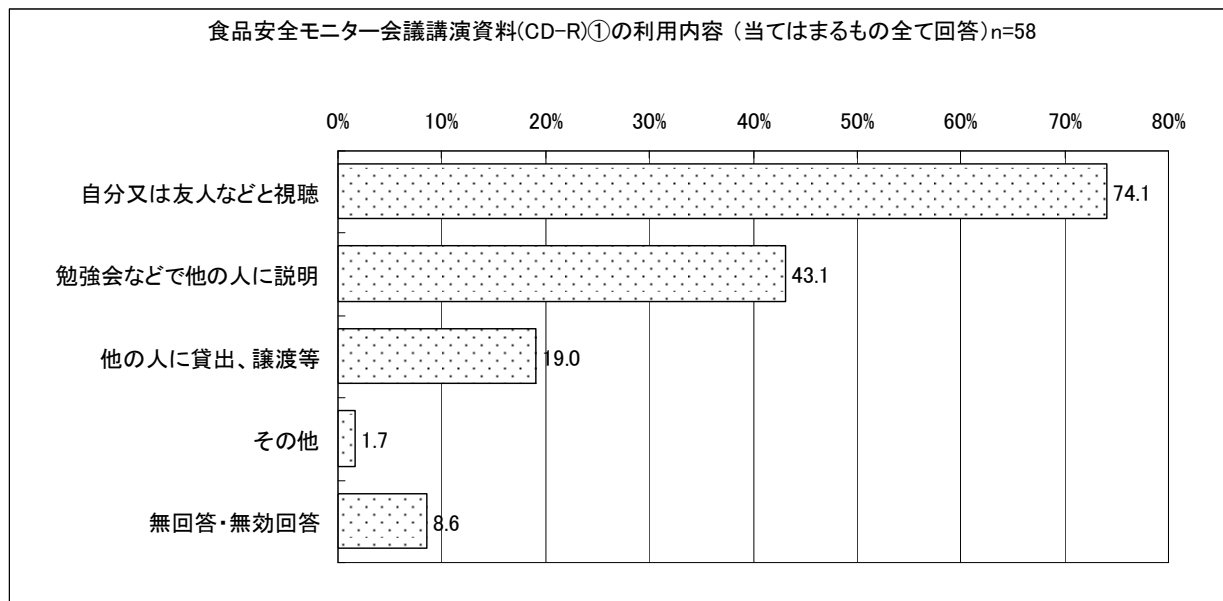
	役立った	役立たなかった	どちらでもない	配付を希望しなかった	無回答・無効回答
食品安全モニター名簿	9.2	17.5	28.2	43.4	1.7
食品安全モニター会議講演資料(CD-R) ①「食品の安全性と信頼性確保」(事務局からの説明資料)	16.7	1.7	7.5	64.9	9.2
食品安全モニター会議講演資料(CD-R) ②食品安全委員会委員からの説明資料	17.2	1.1	7.8	64.4	9.5

②食品安全モニター名簿及び食品安全モニター会議講演資料(CD-R)の利用内容(問10)

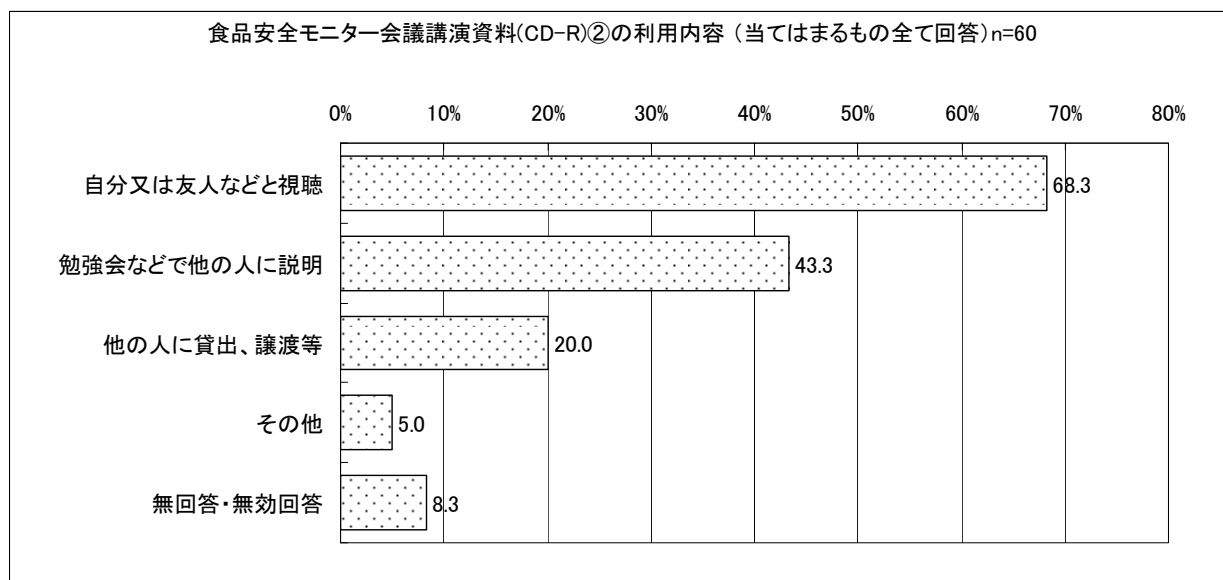
- ◆ 食品安全モニター名簿の利用内容として回答割合が高い順は、「同一都道府県内や同一市町村内など、地域で交流や活動をするために利用」(53.1%)、「交流を図りたかった人に連絡」(40.6%)、「情報提供したいことがあり、送付者リストとして利用」(12.5%)、「質問したいことがある人に連絡」(9.4%)、「その他」(12.5%)、「無回答・無効回答」(3.1%)。



- ◆ 食品安全モニター会議講演資料①「食品の安全性と信頼性の確保」事務局からの説明資料の利用内容として回答割合が高い順は、「自分又は友人などと視聴」(74.1%)、「勉強会などで他の人に説明」(43.1%)、「他の人に貸出、譲渡等」(19.0%)。



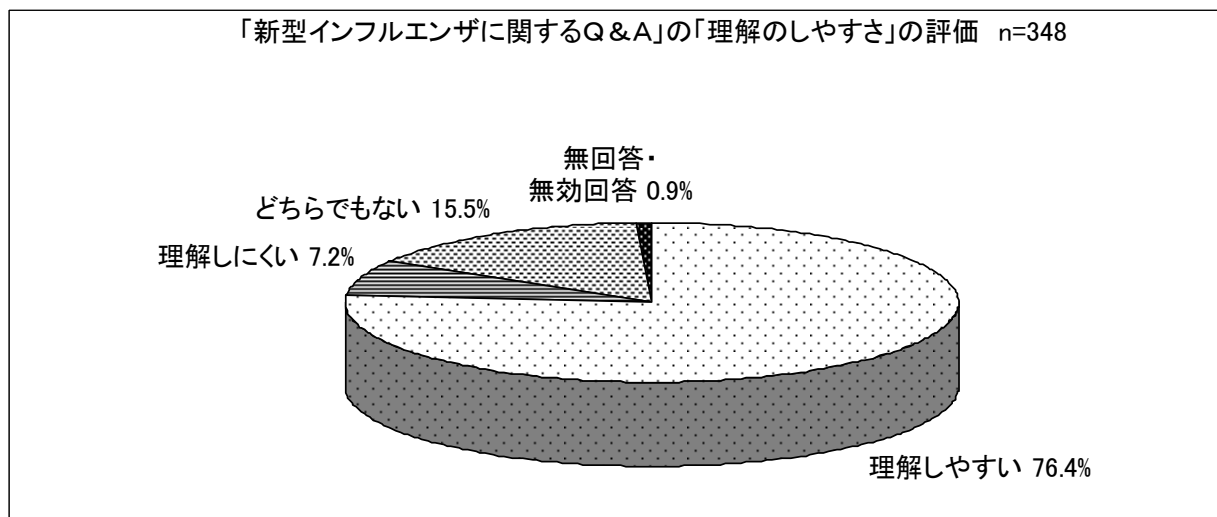
- ◆ 食品安全モニター会議講演資料②食品安全委員会委員の説明資料の利用内容として回答割合が高い順は、「自分又は友人などと視聴」(68.3%)、「勉強会などで他の人に説明」(43.3%)、「他の人に貸出、譲渡等」(20.0%)の順。



#### 4) 新型インフルエンザに関する情報提供について

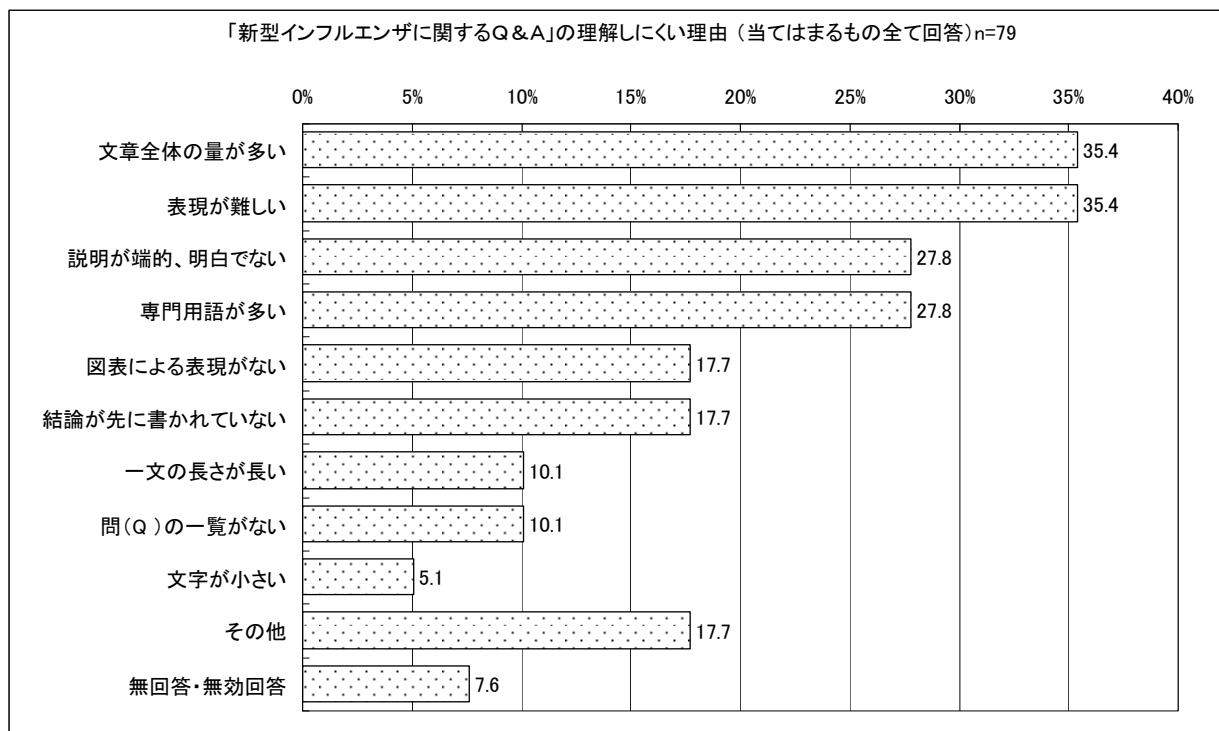
##### ① 「新型インフルエンザに関するQ&A」の「理解のしやすさ」の評価（問 12. 1）

- ◆ 「新型インフルエンザに関するQ&A」について、「理解しやすい」とする回答割合は76.4%、「どちらでもない」とする回答割合は15.5%、「理解しにくい」とする回答割合は7.2%。



##### ② 「新型インフルエンザに関するQ&A」の理解しにくい理由（問 12. 2）

- ◆ 「新型インフルエンザに関するQ&A」の理解しにくい理由として回答割合が高い順は、「文章全体の量が多い」（35.4%）、「表現が難しい」（35.4%）、「説明が端的、明白でない」（27.8%）、「専門用語が多い」（27.8%）。



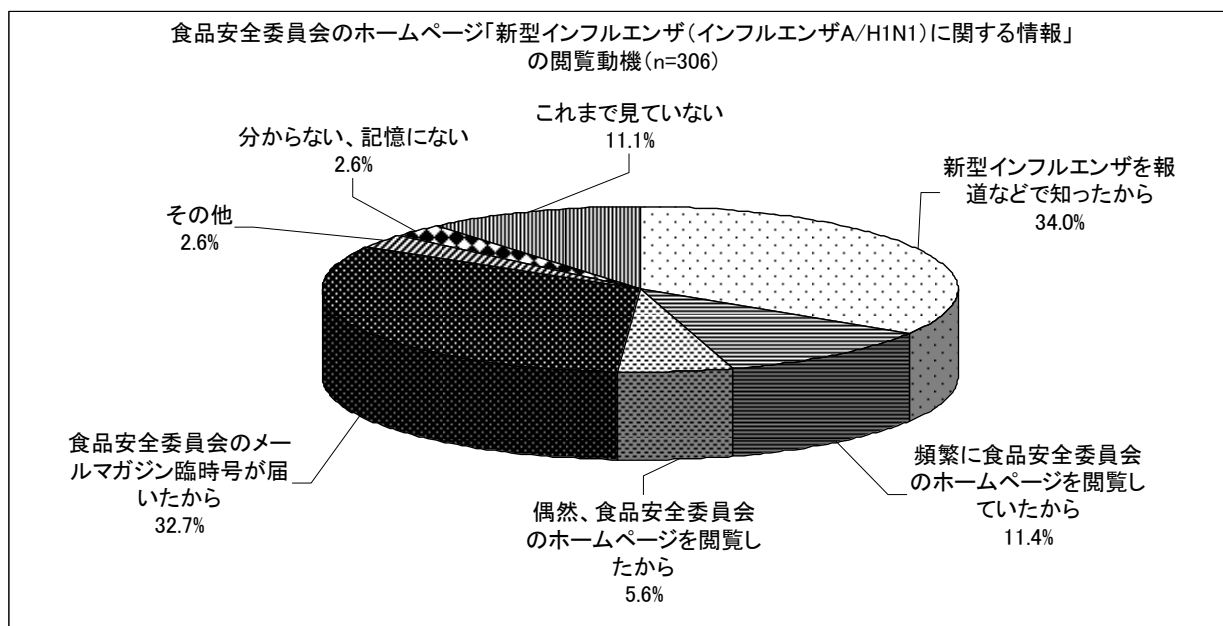


※これ以降は、ホームページが閲覧可能な環境の人のみを対象とした設問

5) 食品安全委員会ホームページでの新型インフルエンザに関する情報発信について

① 食品安全委員会のホームページ「新型インフルエンザ（インフルエンザA/H1N1）に関する情報」の閲覧動機（問13）

- ◆ 「新型インフルエンザ（インフルエンザA/H1N1）に関する情報」の閲覧動機として、「新型インフルエンザを報道などで知ったから」（34.0%）とする回答割合が最も高く、次いで、「食品安全委員会のメールマガジンの臨時号が届いたから」（32.7%）、「頻繁に食品安全委員会のホームページを閲覧していたから」（11.4%）の順。



②食品安全委員会のホームページ「新型インフルエンザ（インフルエンザA/H1N1）に関する情報」の関連情報の有用度合（問 14）

- ◆ 「新型インフルエンザ（インフルエンザA/H1N1）に関する情報」の関連情報について「役に立った」とする回答割合が高い項目の順は、「食品安全委員会（食中毒予防について）」（74.2%）、「食品安全委員会（食中毒予防について：お子様向け）」（59.5%）、「食品安全に係る関係機関の見解およびQ&A」（53.3%）。

